

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
医療福祉論	武田 誠一	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>保健医療サービス、医療保険制度（診療報酬制度に関する内容を含む）を体系的に学び、保健・医療分野でのソーシャルワーカーの役割を理解する。 また、福祉サービス及びこれに関連する専門職の役割、多職種協働について理解することを目的とする。</p>						
到達目標	<p>1 医療・福祉分野でのソーシャルワーカーの役割について述べるができる。 2 「医療ソーシャルワーカー業務指針」に沿って、業務の具体的展開を述べるができる。 3 進行する医療保険制度改革における課題を患者の立場及び医療ソーシャルワーカーの立場から述べるができる。</p>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション 医療福祉とは何か						
2	保健医療実践現場でのソーシャルワーク						
3	医療ソーシャルワークの具体的展開 「医療ソーシャルワーカー業務指針」						
4	医療ソーシャルワークの対象者理解						
5	医療ソーシャルワークに必要な医療保険の制度理解						
6	医療ソーシャルワークに必要な医療保険制度の活用						
7	医療ソーシャルワークに必要な診療報酬制度の制度理解						
8	医療ソーシャルワークに必要な診療報酬制度の課題把握						
9	保健医療サービスの概要と機能分化						
10	在宅医療と地域医療連携						
11	保健医療サービスにおける専門職の役割と実際						
12	医療ソーシャルワークの実践(事例概要)						
13	医療ソーシャルワークの実践(具体的支援)						
14	医療ソーシャルワークの実践(カンファレンス)						
15	保健医療現場におけるソーシャルワークを展望する						
予習内容 復習内容	予習 新聞レポートの作成 復習 コーネルメソッドノートの整理						
教科書	未定						
成績評価	課題・提出物（30点）、ミニレポート（30点）、新聞レポート（40点）の配点で評価します。						
実務経験	在宅介護支援センター、病院での実務経験に基づき、医療保健分野のソーシャルワークについて教授していきます。						
その他 特記事項	日ごろから医療保険制度・社会保障制度に関する報道などに関心を持っていると講義を理解する手助けになると思います。 社会保障論Ⅰ・Ⅱを履修後に受講してください。						